

上 村 匡 (ウエムラ タダシ)
(UEMURA Tadashi)



生 年 1960年

現 職 京都大学大学院生命科学研究科 教授
(Professor, Graduate School of Biostudies, Kyoto University)

略 歴 1982年 京都大学理学部卒
1984年 京都大学大学院理学研究科修士課程修了
1987年 京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了
1987年 理学博士の学位取得(京都大学)
1987年 カリフォルニア大学博士研究員
1989年 京都大学理学部助手
1999年 京都大学大学院生命科学研究科助教授
1999年 京都大学ウイルス研究所教授
2004年 京都大学大学院生命科学研究科教授(現在に至る)

授 賞 理 由 「多細胞体構築を支える細胞極性を調節する遺伝プログラムの研究」
(Studies on Genetic Programs of Cell Polarity Underlying Multicellular Organization)

多細胞生物を構築する個々の細胞は、周囲の細胞との認識を通して、それぞれに特徴的な非対称性に富む形態を発達させる。このような細胞形態の非対称性を細胞極性と呼び、極性の発達は細胞の機能発現に欠くことができない。受賞者は、ショウジョウバエの神経系や上皮をモデル系として細胞極性を研究し、非対称分裂を制御する遺伝子、極性を制御するカドヘリンおよび細胞の骨組みを再編成させる酵素などを発見した。これらの分子はヒトにも保存されており、多細胞動物に広く保存された遺伝プログラムの解明に大きな貢献をした。